

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク		
事業名	県内NPOの基盤強化と市民活動サポート事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【重点課題：県内NPOの活動基盤の充実・強化に資する中間支援の機能強化】		
団体の 所在市町村	寒河江市	事業費	1,098,943 円
		うち助成金額	1,000,000 円



【事業目的】

昨年度の事業の結果、県内のNPO法人の運営状況は大規模な事業を行っている団体と、草の根活動をコツコツと実施している団体が両極端に存在していることがわかった。このような草の根活動を実施している団体に対し、NPO法人を運営する上での注意点やコツ、資金や人材に関する情報や学習、相談の場を提供し、健全な運営や課題解決へ導く必要があると考える。また、NPO法人の活動を紹介する小冊子を作成し、広く県民に周知をはかる事で市民のNPOに対する理解を深め、活動しやすい環境作りに寄与していく。

【実施内容】

【市民活動サポート活動】

- ①若者向けボランティア養成講座
2月6日山形市で実施。
高校生を対象にどんなボランティア活動があるのか、ボランティアとはどういうものかを解説。
・講師：当団体代表理事早坂信一
・参加者：高校生8名
- ②NPO紹介冊子発行
県内のNPO法人10団体の活動を紹介、2,000部を発行
11月上旬制作開始、2月上旬校了、2月26日まで発送完了

【NPO団体基盤強化活動】

- ①NPO運営基礎講座「NPO運営のイロハと停滞期の脱出」
1/15酒田市、1/16山形市

立ち上げ時から運営を安定化させるまでにやるべき事、活動が行き詰まった時に考える事、などをわかりやすく解説して頂いた。

- ・講師：北海道立市民活動促進センター 相談員 東田秀美氏
- ・参加者：酒田10団体13名、山形1団体4名
- ②助成金紹介講座「助成金を使って活動してみませんか」
12/10米沢市、12/11鶴岡市、12/15山形市、12/16新庄市で実施。
助成金を出す側と受ける側の接点作りを兼ね、どのような趣旨の助成金なのかを紹介。
・参加助成事業者：5団体
・参加者：米沢8団体9名、鶴岡8団体8名、山形5団体11名、新庄3団体4名
- ③助成金獲得講座「受かる申請書、落ちる申請書」
1/9鶴岡市、1/10米沢市、1/11山形市で実施
助成金を出す側の視点に立って、どのような申請書にすれば良いのかを解説。
・講師：荘内銀行経営管理部広報CSR室 シニアマネージャー 菅隆氏
当団体早坂信一
・参加者：鶴岡4団体6名、米沢10団体13名、山形2団体2名
- ④NPO個別相談会「NPOよろず相談会」 県内8か所で10回実施。
・参加者：11/20新庄市1団体1名、11/24天童市2団体2名、

- 11/25酒田市4団体5名、
- 11/26寒河江市なし、
- 11/27米沢市1団体1名、
- 1/19米沢市1団体1名、
- 1/20南陽市1団体3名、
- 1/25酒田市1団体3名、
- 1/26鶴岡市1団体1名、
- 1/27東根市1団体2名

本相談からNPO法人設立までサポートした団体もあり、最も成果が大きい活動と言えた。

【事業の成果】

NPO法人を紹介する冊子は近年あまり目にした事がなく、広く県民に知ってもらう手段として大きい成果と考える。出来るだけインタビューの口調をそのまま文章に残し、単なる紹介文になることが無いよう注意を払った点など、満足な出来映えと考えている。若者向けボランティア講座については、結果的に女子高生のみが参加する講座となったが、非常に意識の高い学生ばかりで、若者の「社会のために何かしたい」という熱い想いをひしひしと感じる場であった。この想いを何とか力に変える事ができないものか、次なる展開への課題となった。個別相談会では、「どこに聞いて良いかわからない」という意見が多く寄せられた。この問題はおそらく県内のNPO活動者の多くの人が感じている課題であると思う。この点を解消するためにも継続した活動を行って行く所存である。